

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年 12月 1日公開  
シリアに関して

クロアチアの首都・ザグレブより、シャローム！ここは元々ユーゴスラビアの一部であった国です。国でありながら、ユーゴスラビアという大きな共和国の一部で、共産主義体制が崩壊した時（書記注:1991年）にユーゴスラビアも崩壊し、その時にクロアチアは独立国家となったのです。とても美しい国で、おもてなし上手な人が大勢います。また、何人かのクリスチャンにもお会いしましたが、とても素晴らしい人々でした。私は、主がここで偉大な事を行おうとされていると思います。また、御霊がここで、特にカトリック信者の中で盛大に働いているのを感じます。ここはカトリック信者が大半を占める国ですから。だから、多くのカトリック信者が新生して、クリスチャンになった証しをたくさん聞きました。これは素晴らしいことです。昨日はインターネット接続が上手くいかず、ライブが出来なくてすみませんでした。それに加えて、家族に問題が起きて、病院に連れて行かねばならず、どちらにしても、ライブは中止しなければなりません。それはともかくとして、無事ここに到着して、こうしてお話できることをうれしく思います。

この3日間にシリアで、非常に大きな進展がいくつかありました。それについては、クリスチャンの一人ひとりが知り、理解し、聖書の御言葉と結び付けて考えるべき事だと思います。多くの方がご存じの通り、私がFacebookでライブを初めて数か月、また、世界中で聖書預言を教え始めてから数年経ちます。その中で私が絶えず伝えてきたことは、世界の舞台、特に中東はエゼキエル書38~39章に向けて整い始めているということです。しかし、それは点火するものがなくては始まりません。そして、ロシア、イラン、トルコ、全員がすでにシリアに入っています。そこからシリアがエゼキエルの預言を成就させるカギとなるのがわかります。当然、聖書にはイザヤ書46章にこう書かれています。

9 …わたしが神である。ほかにはいない。わたしのよな神はいない。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ…

(イザヤ書46:9~10)

ですから、私は「まだなされていない事」とはダマスカスの破滅だと思っています。なぜこれを話しているのかというと、ここ数日、いくつか大事件が起こり、それが何らかの形でダマスカスの破滅に拍車をかけているからです。

まず、アレッポで起こっている事実からお伝えします。ダマスカスから北西に上った所、シリアの大都市です。現在、文字通り「住民皆殺し」です。これ以外に言葉はありません。第2次世界大戦以来、このような光景を目にするのは初めてです。約30万人の市民は追い込まれており、反乱軍の居留地がアサド政権、ヒズボラ、イラン兵士に取り囲まれていて、そこが今、二つに分断されて、反乱軍の生活をさらに困難にしています。その分断によって、人々は北から南への移動ができなくなりました。人々は、病院も薬も水もないばかりか、逃げ場も失っているのです。爆撃はどんどん激しくな

り、その上、これは世界には伝えられていませんが、毎日塩素を落とされているのです。つまり、一般市民の上に化学兵器が撒かれているのです。実際、複数の証拠映像があり、若者や幼い子どもたちが、塩素によるやけどや呼吸困難を訴えて、診療所を訪れる様子が映っています。彼らは毎日のように化学兵器を使っているのに、世界は何も言いません。人々は病院や診療所が爆撃されても、ただ座って、亡くなった人を悼み悲しむだけです。亡くなった人は爆撃で死んだのではなく、必要な治療や薬がないために死んでいきます。このようにアレッポでは、凄まじい悲劇が起こっているのですが、世界はそれに対して何もしません。国連は会議を開催していますが、実質何も行っていません。そしてこれから冬に入って、寒冷前線がイスラエルに向かい、そのままシリアへと進みます。それによって、ここに大量の雨をもたらし、やがてシリアでも雨が降ります。非常に冷たい寒冷前線で、山間部では数時間前に今シーズン最初の雪が降りました。その雪はシリアでも降ります。そこで理解しなければならないのは、アレッポの人々はロシアからの爆撃に苦しむのみならず、凍死しているのです。おぞましい状況です。また、これらすべての状況の激しさが増しているのは、ロシアがこの大失敗を長引かせるわけにはいかず、早く終わらせたいのです。ロシアにとっては多額の費用を要し、また多くの力を要しますが、シリアに関わる事で、それだけの代価が伴うことを彼らは知りませんでした。彼らがアレッポでしようとしたことは、チェチェン共和国で行ったことと同じで、全都市を破壊し、そこに自分たちの手先を置いて支配するのです。しかし、中東では、シーア派対スンニ派等の問題があって、チェチェンやロシア自体よりももっと広く複雑で、機能していません。そこで今、現地で起こっていることを皆さんに説明したいと思います。

ロシアの飛行機は日中しか飛びません。彼らは夜間飛行の仕方を知らず、夜は爆弾も投下せず、夜間は離陸をしません。そこで、その時間帯は、我々が自分たちの仕事をすることが可能になり、任務を遂行することができます。我々は一般市民を爆撃したりはせず、人の居住区には爆弾を落としません。数日前、イスラエルは2つのターゲットを攻撃しました。一つは武器運搬車、武器については後程お話ししますが、シリアからレバノンに向かっていました。それからもう一つは、ダマスカスの空港のすぐ横にある、武器貯蔵庫です。イランが旅客機を使って武器を密輸していることは知っていました。これは実に巧妙な犯行です。なぜなら、我々が旅客機を攻撃しないということ、向こうは知っているからです。彼らは、旅客機の貨物室部分に、武器や民兵を隠して運び込んでいました。しかし我々は、彼らがそれをどこに入れているか、はっきりと知っていました。ただ、問題は、ロシアのせいでシリア上空を飛行することは、現状では我々にとってたやすいことではありません。そこで我々はレバノン国境に飛び、そこから航空機が高性能長距離ロケットを発射し、貯蔵庫と運搬車を破壊したのです。

さて、我々は事を行うたびにロシアにいちいちお伺いを立てるわけではありません。たいていの事はネタニヤフとプーチンが事前に話をして協議しますが、いくつかのケースでは、ただ座って何もしていないわけにはいかない事例もあります。その中の一つは、ヒズボラがイスラエルの航空機を撃墜することを可能にする高性能ロケットを要求しようとしています。また、あるいはさらなる対立が生

じた場合に、これは我が国の都市や町にとって悪いニュースになるかもしれないのです。つまり最新兵器と言っても、我々が容易に撃墜できるものではなく、超最新鋭の兵器が彼らの手に渡るということが今起こっています。これが2日前にイスラエルの閣僚がステルス戦闘機F-35をさらに17機追加購入することを容認するに至った理由です。我が国はF-35を33機購入して、10日前に第1号機をすでに受け取っています。ですから、その33機に加えてさらに17機、イスラエルは50機のF-35を所有することになります。これはおよそ2つの異なる飛行大隊です。我々はなぜこれほどまでにそれらを必要としているのかというと、かつてのイスラエルはイランを攻撃するためにこれらの入手を考えていましたが、それについてはもはや考える必要がなくなりました。イランはすでにシリアにいます。ロシアも今シリアにいます。ロシアがああ地域に持ち込んだ高性能な武器システムのせいで、イスラエルは普通のF-15やF-16を使うことができなくなりました。過去数年間、私たちは不正な方向から不正な手に渡ろうとしている武器や場所を攻撃・破壊してきましたが、その内の90%は公表されていません。それができたのは、我々が制空権を握っていたからです。今は、ロシアによってS-300やS-400、対航空機ミサイルシステムなどの最新兵器が到着したことにより、イスラエルはステルス（低被探知）しなければならなくなりました。そして、F-35の到着によって、—それらが到着すれば、当然我々はその中に全ての武器システムを入れますから、これによって将来、我々は戦闘可能となり、レーダーに探知されることを気にせずに偵察できるようになります。それがF-35の全ての目的です。イスラエルはF-35をアメリカから購入し、その中に、ここではお伝えすることができないようなイスラエル製の多くの物を搭載します。それによって、アメリカの存在がもはやなくなって、ロシアが取って代わり、大きく変換し展開する中東において、引き続き道を備える大きな助けとなるでしょう。

しかし、5日ほど前、また別の事件がありました。ISISと提携している複数のテロリストが、ゴラン高原の南側でイスラエル兵に対して発砲、それに対してイスラエルはためらうことすらしませんでした。ISISが我々をシリアの内戦に引きずり込むようなことはさせません。我々は直ちに彼らの前哨隊を破壊し、翌日にはさらにいくつかを破壊しました。そして我々は、このような事には容赦しないと伝えました。我々はISISに「そちらが何かを仕掛けるなら、こちらは直ちにあなたたちが所有するあらゆるものすべてを破壊する」と伝えました。それ以降は静かになりましたが…。残念ながら、聖書預言を伝えているウェブサイトの多くが、事件が起きると事実確認をしないで、そのままインターネットで発信してしまいます。とても重要なことなので、どうか皆さんはそのようなことはしないようにお願いします。まずは事実確認をしてください。2日前、ゴラン高原でサイレンが鳴りましたが、それは誤報で何も起こっていませんでした。しかし、私のところにはおびただしい数のE-mailやメッセージが届きました。「イスラエルが攻撃されたって記事を見たんですが！」いいえ。イスラエルはロケット攻撃を受けたりはしていません。あれは誤報です。どうかお願いします。その手の話を投稿する前に事実確認をしてください。なぜなら、実際に事が起こって報道した時に、誰も信じなくなってしまう。手当たり次第に撃つようなことはしないで、撃つ前に考えましょう。大切なことは、もし自分が発する情報を信頼してほしいのなら、信頼できる情報源だと見られたいのなら、事実確認を必ず

行いましょう。とても大切なことです。

もう一つお伝えしたいのは、エルドアンがどんどん激しさを増してきていることです。一つめに、エルドアンはヨーロッパに何百万人という数の難民を送り込むぞ、と脅して、ヨーロッパは今、パニックになっています。次に、エルドアンもシリアで攻撃を仕掛けています。ISISがトルコの兵士2人を誘拐したため、彼はISISの前哨隊を攻撃しました。それに加えて彼は、自分もそこで起こっていることに関わっていることを示したいのです。彼は、自分がそこに加えられていないという事実を受け入れられないのです。エルドアンはイランが牛耳ることを許せません。彼は今のシリアでシーア派が優位に立つのを許せないのです。さらにエルドアンは、自分たちの主導でシリアを血まみれにしたいのです。それは悲劇です。ご覧の通り、これまで絶対に協力し合う関係になかったイラン・ロシア・トルコという、何一つ共通点のない国々にとって、シリアが接着剤になっています。ロシアはおカネが必要なため、その地域の全員と取引がしたい、イランはシーア派を広めたい、トルコはスンニ派の頭になりたい、そしてカリフが彼らの手に戻ることを望んでいて、それから当然彼らはクルド人が広がることも許せないのです。それぞれが問題を抱えています、悲劇なのは、シリアがそれぞれの勝負を展開する場となっていることです。ですから皆さんは目を開いて、注目しておいてほしいのです。なぜなら、イスラエルが攻撃に出ると、ロシア・イラン・トルコが出てくる可能性が高くなるからです。実際に二日前の攻撃で、ロシアが微妙な立場となりました。なぜかと言えば、メディアは直ちにイスラエルが攻撃したことを報じ、そしてシリア政府がイスラエルを攻撃したことを認めました。ちなみにイスラエルは、レバノン上空を飛行しながらロケットを発射したのですが、そのことによってロシアが微妙な立場となったのです。それは、ロシアがああ地域を支配していて、強国の立場にありながら、なぜこのようなことが起こったのか？と言われていたからです。同時に彼らは、イスラエルはロシアが興味を示しているものには一切攻撃していない、ということも知っているのです。ですからロシアは現在、何の反応も示していません。二日前、イスラエルが攻撃したことに對して、クレムリンはどんな反応をするのだろうか、と皆が固唾を飲んで見守っていました。ますますいろいろなことが起こっています。

最後にもう一つ、触れておきたいのは、私たちが考えることについてです。現在アラブ世界で起こっていることによって、アラブの若者たちの不満が増大し、それがいわゆるアンダーグラウンドで沸々としている状態で、「アラブの春」がまた起こると予想されています。と言っても、私が思うに、最初のもは「アラブの春」ではなく、「イスラムの冬」でしたが、人々は最初のものよりもさらにひどいものが起きる、と予想しています。アラブ世界全体を見渡すと、原油価格は暴落し、政府はそれを補うだけの十分な資金を持っていません。人々は貧しく、仕事がなく、多くの人が無職で、不満が爆発するのも時間の問題です。そして彼らはイスラムが答えではないことが分かっています。イスラム地域も、ISISが暴走するのを目撃しています。彼らが求めるのはそれではないのです。これによって、まさに何百万人というイスラム教徒の若者が新しい世界統一宗教を受け入れる準備が整うと、私は思っています。西ヨーロッパから、西欧諸国がもたらし、彼らも繋がりを感じるもの、そして彼らもま

た受け入れられるもの。彼らも、崩壊した小さな世界に閉じ込められるのではなく、他の世界の一員だと感じられるもの。世界中でものすごいペースで様々なことが起こっており、実に興味深いことです。これを皆さんにお伝えしたのは、ダマスカスに注目しておくのはとても重要だからです。この数日間に起こったことは、確実に全ての物事の手を速めました。今はもはやロシアがアレッポを攻撃したとか、アメリカやイラクがモスルを攻撃したということではなく、私は、イスラエルがダマスカスを攻撃したと報じているのです。これは私たちが目を開いて、世界で起こっていることに注目すべきです。主は確かに、多くの国、多くの場所で働かれています。ヨーロッパが反キリスト到来に向けてどれほど準備が整っているかをお話しして以来、いくつかの国のクリスチャンたちが揺さぶられたようで、スウェーデン、ノルウェー、フランス、イギリス、それからオランダからも講演の招待を受けています。神は今、大いなることをされています。皆さんはどうかヨーロッパのために引き続きお祈りください。なぜなら、あそこが非常に多くの悪の巣窟であり、神は聖徒の間で働かれています。そして多くの人は一瞬真実に触れると、それを握りしめようとするものです。ですから、皆さんにはどうか引き続きお祈りくださるようお願いいたします。神がヨーロッパの中でもっと多くの扉を開いてくださるように。私にとっても、数時間で到着できるため、とても楽で、週末に短期滞在して家に帰ることができます。ですから、それに関してどうか私たちのためにも引き続きお祈りください。

来年（2017年）私は、日本、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、メキシコ、アメリカ、カナダを訪れます。皆さん、どうか私たちのためにお祈りください。毎週お届けしているニュースレターを登録していない方は、どうかご登録ください。私たちのFacebookページからsign upをクリックすると、お名前とメールアドレスうい登録していただけます。毎週一回、ニュースレターをお届けしています。また、You Tubeもチャンネル登録してください。新しい出来事をお伝えします。Facebook、Twitter、Instagramもフォローをよろしく。“Behold Israel”です。

ソーシャルメディアですでに報告しましたが、来年5月に若者対象のイスラエルツアーを予定しています。それについて、皆さんもどうか祈ってみてください。大学生年齢の若者たちは非常に混乱していて、70~80%の若者たちが大学に行き始めるとそれまでで、教会を離れてしまうと言われていいます。私の祈りは、彼らをイスラエルに連れてきて、御言葉に触れて燃え上がらせ、それぞれ自分の国にある家に帰らせることです。そうすることで、彼らが霊的に新たになるだけではなく、堂々と宣べ伝えられるようになります。なぜなら、最近の大学は反イエスだけではなく、反イスラエル、反アメリカ、さらには、西洋の価値観が非常に社会主義的、親アラブ的、もっと言うなら、親共産主義的になっており、これは非常に警戒すべきことです。

アメリカにお住まいの皆さんは、1月20日にトランプがホワイトハウス入りできるように引き続きお祈りください。闘いはまだ終わってはいないのです。選挙人たちは日々、命の危機に直面しているのです。皆さんご存知の通り、選挙人たちが12月19日に投票し、それによって最終的に当選が決まるのです。そのため、現在非常に強い圧力がかかっています。数え直しだとか、巻き返しが試みられています。

ますが、私たちは血肉では戦わないということを理解しておいてください。血肉の戦いではなく、主権とか、この暗やみの世界の支配者たちです（エペソ 6：12）。11月8日に起こったことに、彼らは非常に憤っています。人々が声を上げたことに、彼らは非常に腹を立てています。そして彼らは、人々の決断を無効にしようとさえしているのです。つい先ほど、私が読んだ記事では、アメリカの全ての郡の数が3,800だとして、トランプは3,600の郡で勝利したとのこと。言い換えれば、ヒラリー・クリントンはたった40の郡でしか勝利しなかったのです。もちろん、そこは最も人口が密集した場所でもありましたが、アメリカ全体を見たときに、シカゴ、ニューヨーク、ロサンゼルス、三都市だけをとり、それがアメリカだとは言えません。今になって突然、彼らは人気票がデタラメであったことを発見。もしこれが常に人気票に応じていたとしたら、他の州に行って選挙活動する必要はなくなり、ただカリフォルニア、シカゴ、ニューヨークにだけ行くでしょう。もし、人気票で決まるのなら、です。しかし、明らかにそのようには機能しておらず、そのようには作られておらず、選挙はアメリカ合衆国の全ての地域を反映しています。

続けてお祈りください。主は働いておられます。どうかあなた自身を生きた捧げ物として、主に差し出してください。この終わりの時に、神はその子どもたちに主の御業に励むようにと呼びかけられています。そして主は来られるとき、私たちが神の御業に励んでいるところから取り去ることを望んでおられます。マタイ 24章はそれについて書かれています。ですから引き続き情熱を持ってください。私たちはこれら終わりの時について語り、聖書には「互いに励まし合いなさい」と書かれています。恐らく、悪いことが起こる、という話になるでしょう。それでもお互いに励まし合うべきです。私たちは神の御怒りに遭うようには定められていないからです（第一テサロニケ 5：9）。私たちは、この患難から、ヤコブの苦難から取り去られます。私たちは、ここにいてそれら全てを経験するようなことはありません。私たちは備えをするべきです。私たちは伝えるのです。眠って何もしないのではなく、今、私たちは伝えるために呼ばれているのです。「備えをして、神に立ち返れ」と私たちは伝えるのです。家族や友達、皆さんの周りの人の関係を修復して、それぞれの能力を最大限に生かして、福音を伝えるのです。今は終わりの日の、終わりの時です。どうか皆さん、主と個人的な関係を築いてください。毎日聖書を読んで祈り、主と語り合ってください。神は細く静かな声で語られません。そして唯一、私たちが耳を傾けた時にだけ、それが理解できるのです。

他にもお伝えしたいことがたくさんありますが、時間がありません。来週か再来週のうちにまた Q&A を行います。世界中の皆さんから頂いた質問をまとめて、一つ一つにお答えしていきます。

Thank you!

Shalom from Zagreb, Croatia!

I love you all!

God bless you!

Bye-bye!

---

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。  
※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

---

*「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7*

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO